

令和2年(2020年)12月21日(月) 3年GS課題探究基礎講座「総合的な学習の時間」  
第4回 能勢町×能勢分校連携講座

講師：千葉知世氏（大阪府立大学人間社会科学システム研究科准教授）  
テーマ「ポストコロナ社会と『地域』」

千葉先生は、環境省主催の五箇勉強会（生態学者 五箇公一先生進行）のメンバーとして、小泉進次郎環境大臣、山極寿一前京大総長、落合陽一筑波大学准教授らとともに「コロナ後の日本の未来と希望を考える会」でも活動されています。地球環境危機が様々な影響を与えコロナもその一つではないかと、と話されました。能勢分校生が調査・課題探究したマレーシア オイルパームプランテーションがもたらす熱帯雨林破壊、オランウータンの居場所が奪われたり地球の貴重な生態系が破壊されたりしていることにも触れていただき、環境破壊だけではなく、世界の貧富の格差拡大、地球温暖化、パンデミック、日本の貧困、人口減少、高齢化社会、ジェンダー、不平等な社会等など、これらの種々の問題はどれも解決しなければならないことをお話しいただきました。SDGsは果たして2030年にゴールにたどり着けるのか、これからの未来をいかに生き抜くか、個々考えていかなければならないと、話されました。

3年生にとっては、グローバルな学びを3年間深めてきた内容に沿ったお話で、3年間の学びをまとめ、個々考えるワークショップもあり意見や考えも発表でき、学びの深い充実した講座となりました。

